

【教育目標】

○よく考える子ども ◎思いやりのある子ども ○たくましい子ども

【目指す児童像】

問題発見・解決力、コミュニケーション力を身に付けて、学校・社会の中で自立・協働・創造できる子

思いやりの心をもって人と接し、学校や社会のルール・マナーを守り、礼儀作法を大切にできる想像力のある子

基本的な生活習慣を身に付け、心身の健康に努め、積極的にものごとに挑戦する子

【学校経営方針の基本方策】

～学校が担う事・家庭が担う事を明確に～ 「子どもが主語の学校へ」「デジタル化」「教員の働き方改革」 ～子どもに多様な学びの場と学問の楽しさを～

問題発見・解決能力の育成のために

【自主・自律・共生の生活力の育成】

心の健康と体の健康の調和

【授業スタイルの3段階】

- 1学期に学習スタイル(導入一斉→一斉組・個別・協働組に分かれて学習→まとめ)の定着
- 2学期に個別最適な・協働的な学びの「指導の個別化」の推進
- 3学期に個別最適な・協働的な学びの「学習の個別化」に挑戦(子どもの学習調整力の育成)

【教科担任制の導入】

- 泰明スタイルの教科担任制を検討・実施

【評価方法の改善】

- 各教科等の評価は学習指導要領に基づき適正に実施
- 評価方法の工夫、ICTの活用
- 通知表の所見欄の廃止と個人面談の充実(保護者・子ども)

【ICTの活用と一斉授業はそれぞれの効果的を】

- 板書・ノート活用、話し合い活動を大事に
- ICTを活用してより広くより深い探究学習の実践

【グローバル化社会への対応】

- 外国語・国際理解教育を充実し、コミュニケーション・プレゼンテーション能力の向上

- 泰明の伝統文化を授業で導入、つないでいく意識醸成

【特別活動の充実】

- 話し合い活動の充実と自治活動の活性化

【ゆとりある子どもの学びの保障】

- ゆとりある時程の検討

【学級づくりの3段階】

- 1学期は学級づくり(規範意識の醸成)、2学期は学習の成果(安定化)、3学期はまとめ・次年度へ(意識向上)

【問題行動の撲滅】

- いじめは未然防止・早期発見・対応が第一、法令上のいじめは早期発見・対応、社会通念上のいじめは○

- 暴力行為は個別対応と家庭と連携した対応

- 児童虐待は早期発見・相談・通報及び関係機関と連携

- 学校のルール・マナー及び学習規律の徹底

- 学校のルール・マナーは子どもと決める-三者協議

- ノーチャイムの実施(子どもも先生も時間を守る)

【不登校対応】

- 不登校は未然防止が第一、不登校児童にはスモールステップの対応と福祉機関と連携

【特別支援教育の充実】

- 特性のある子どもへの個別の支援の充実

- インクルーシブ教育は学習・生活面等で充実、子どもの高い能力・課題へ対応

- 学校の教室環境・授業にUDの手法を導入

【安全・安心の学校生活】

- 子どもがSOSを自ら出し、自ら相談できる力の向上と学校の相談体制の充実

- 子どもの命を守る生活・交通・災害安全の指導の充実

【学校行事の充実】

- 体育的・文化的・宿泊行事等は子どもの自主性を生かした企画・運営(運動会・学芸会・移動教室 etc)

【子どもの自主性の尊重】

- リーダーシップ・メンバーシップ・フォロアーシップの経験、学校・学年・学級の一員としての自覚向上

- 学級活動や各行事等の活性化

- 各学年で子どもが話し合って企画・立案・活用する予算の確保を検討

【体力向上】

- 体育の授業と体育的活動の充実

- 運動会は子どもが主体的に、体力向上の発表の場に

- サマータイムの検討・実施

【心の健康】

- 道徳科の授業と道徳教育の推進・充実

- 生命の大切さ、思いやりの心の育成

- 子どものトラブルは迅速・丁寧に対応・解決へ

- 安心して学べる集団と差別・偏見を許さない学級

【からだの健康】

- 自分の体を知り、自己管理ができる子どもの育成

【異校種間との連携】

- 中学校との交流の充実

- 幼稚園との交流の充実

子どもを支える教職員

☆専門職として、ファシリテーターとしての教職員

- ・子どもが「主語」の教育活動の推進
- ・学級経営・教科等のスペシャリストへ
- ・教育相談の手法の活用、特別支援教育への理解と実践
- ・子どもの主体性を生かした学級経営・問題解決型の授業

☆組織の一員としての教職員

- ・報告・連絡・相談の徹底と迅速・丁寧・誠意の対応
- ・学校経営は主幹教諭、学年・専科経営は主任のチーム運営
- ・慣習からの脱却と提案型の学校運営・評価システム
- ・会議は合理化・効率化、授業と子どもに全力を

☆ワークキングウーマン・ワークキングマンとしての教職員

- ・仕事は協働・共有・責任感、休暇が取得しやすい職場づくり
- ・学校、家庭の役割の明確化と仕分けによる業務量の削減
- ・教職員も家庭・自分自身の時間を大切に(メンタルケアも)
- ・サービス事故0 保護者会・個人面談のオンライン化